

- 放送日 12月31日(火)、令和2年1月7日(火)
- テーマ 「諏訪地区の消防団の活動、募集について」
- 出演者 諏訪地域振興局総務管理課 小林 千保美
- 聞き手とのやり取り(概要)

Q 1 消防団は火災時の消火活動や防御活動は知られたところですが、近年は、全国各地で大規模な災害が発生していますね。

長野県でも10月の台風19号で大勢の方が被災され、この時も多くの消防団員が関わっていますが、この時、諏訪地区の消防団としては、どのような活動をされたのでしょうか。

A 1 諏訪地区の消防団では、風雨が強まった10月12日夜に 巡視や警戒活動、情報の収集や 広報などの周知活動などを実施しました。中には、全分団が待機して災害に備えた地域もあります。

また、河川の水位の状況確認や 倒木の確認、それに、場所によっては 土嚢積などを実施しています。

避難所開設時の広報や 停電に関する 広報活動も行いました。

Q 2 災害時以外にはどのような活動をしているのでしょうか。

A 2 日常活動では火災予防の啓発に努めており、地区内の巡回や点検を実施しています。また春から夏においては、地区や県で開催される「ポンプ操法・ラッパ吹奏大会」に向け、技術向上を図っています。その他にも、各市町村で出水期の浸水災害に備えての水防訓練や負傷した方に応急手当を行えるように救護訓練などを行っています。

このような日常の訓練が、災害時に役に立っています。

消防団員は日々の活動を通して、地元の細やかな情報や地形の特徴などを熟知していますから、これらが被害の拡大を防ぎ、住民支援にも大きな成果をあげていると思います。地域住民からも厚い信頼を得ています。

Q 3 そのように、地域にとって重要な存在の消防団ですが、現在、諏訪地域の消防団員の加入状況はどのようなのでしょうか。

A 3 残念ながら、平成31年4月1日現在、諏訪管内のほとんどの市町村で 定数に

達していません。消防団員が定数に達しないことにより、消火救助活動において必要な活動が行えず、被害の拡大に繋がることが懸念されます。

しかし、消防団員数が減少しつつある中で女性消防団員は増えていることは、頼もしい限りです。

Q 4 女性団員はどのような活動をされているのでしょうか。

A 4 女性団員の皆さんは火災予防や応急手当の普及啓発において活躍されています。

また、LCVさんの協力を得ながら、隔週の平日、朝と夕方放送の「こちら消防団情報局」というFMラジオ番組の制作にも携わっていただいております。消防団からのお知らせや消防に関する話題を皆さんにお届けしています。

Q 5 消防団員数の確保の促進や団の活動をバックアップしている事業は何かありますか？

A 5 長野県では消防団活動は地域防災力の中核であるとの認識の下に、消防団活動に協力している事業所を「事業税減税」などにより支援する制度があります。

他には、「消防団応援シヨップ事業」というのを実施して消防団員を応援しています。

Q 6 最後にラジオをお聞きの皆さんに、メッセージをお願いします。

A 6 この1月12日の日曜日に、諏訪管内の市町村では出初式が開催されます。

分列行進では実際に消防団で活動されている団員や、ポンプ車などがパレードを行う地域もあり、間近で見ることが出来ます。是非ご覧になってください。詳細は、各市町村の消防署までお願いします。

また、諏訪地区の消防団では、団員を募集しています。

この4月から諏訪地域に就職されるみなさん、進学や就職で一旦は地元を離れる皆さんも数年後、地元に戻って来たら、ぜひ消防団に加入しましょう。

郷土愛にあふれるみなさんのお力をぜひ貸してください。